皇親妃

○按ズルニ、玉勝間ニ云フ所ノ諸王ハ、其人アルニアラズシテ、年爵ノ爲ニ假ニ其名ヲ設ケシモノナラン、

〔古事談四勇士〕天德四年五月十日夜、强盜入武藏權守源滿仲之宅、爰滿仲射留類人倉橋弘重、弘重指申中務卿親王第二男、及宮內丞中臣良村、土佐權守蕃基之男等所爲、撿非違使右衞門志錦文明參內奏聞、中務卿親王家人申云、件孫王今曉入親王家、其同類紀近輔、中臣良村等在此家、仍以事由告親王、親王令申云、男親繁、日來重煩痢病在此家內、不堪起居、待平安時可進者、依宣旨使官人等搜求同類輩親王家內、遂不捕獲、於成子內親王家內〇宇多皇女捕獲紀近輔、近輔申云、親繁王爲首入滿仲家事實也、贓物悉可在彼親繁王許ト云、勅云、依不進男、忽科親王罪、猶伺親繁之出外可召捕者、

〔薩戒記〕享保六年四月二日己酉、飛鳥井中納言示送云、今度御百首、伏見宮幷玉河宮等就端作有被尋問事、伏見宮者親王也、然而已入道給、其儀可同法親王歟、然者可被書沙門某歟、於玉川殿者諸王也、可爲某王歟者、予答云、伏見宮者、只法名二字許可令書給、如入道關白之類也、玉川宮者可爲某王也云云、

○按ズルニ、伏見宮ハ崇光天皇ノ皇子榮仁親王ニシテ、玉河宮ハ長慶太上天皇ノ御子ナリ、

○

〔日本書紀十七繼體〕男大迹天皇、〇繼體譽田天皇五世孫、彥主人王子也、母曰振媛、振媛活目天皇〇垂仁七世孫也、天皇父聞振媛顏容妹妙甚有媺色、自近江國高嶋郡三尾之別業、遣使聘于三國坂中井、納以爲妃、遂產天皇、

〔神皇正統記敏達〕二年癸巳の年、天皇の御弟、豐日皇子〇用明の妃、御子を誕生す、厩戶皇子にてまします、

〔日本書紀二十四皇極〕二年十一月丙子朔、〇中略山背大兄〇用明皇孫厩戶子仍取馬骨投置內寢、遂率其妃幷子弟